

## 2-4 独立した地形が生み出した希少種

財団法人佐渡博物館でインストラクターから佐渡島の固有種、希少種の話をお聞きします。インストラクターとともに生きもの探しと観察をします。

### ■財団法人佐渡博物館

古い歴史を持つ佐渡。その佐渡の成り立ちを示す岩石や化石。そして大いなる海と豊かな自然にはぐくまれた動植物と海洋生物。縄文時代から古代へとつながる考古学上の遺跡。さらには歴史上、多くの貴人、文化人が流され独自の文化を育てた佐渡。そして桃山から江戸時代にかけてわが国の財政の源となった金銀山の開発など。佐渡の持つ貴重な自然、風土、考古、歴史、美術、芸能などの資料を総合的に収集、紹介する総合博物館です。

所在地 佐渡市八幡2041

TEL 0259-52-2447 FAX 0259-52-2447

入館料 一般700円 高校生500円 中学生400円 小学生200円

団体…20名以上1割引、100名以上2割引、300名以上3割引

開館時間 8:00~17:00 (4/1~10/31) 8:30~16:00 (11/1~3/31)

休館日 年末無休

### ■生きもの観察会

季節や全体のプログラム構成に応じて、インストラクターとともに、田んぼ周辺、草はら、里山、雑木林、海辺などのフィールドで生きもの探し、生きもの観察を行います。

固有種、希少種にこだわらず、季節ごとの身近な動植物、昆虫などを観察、また、場所によって採取を行います。どんな自然環境に、どんな動植物が生息するのか、自然との関わりを感じ取るための観察会とします。

ブラックバス、アメリカザリガニなどがいるため池、水路などもあります。外来種が、希少種、固有種を減らしていることを学びながら、これらを採取し、再放流しないようにする体験もあります。その場合、「いのち」の観点から、ブラックバス、アメリカザリガニの処分をどうするのかについての対応を決めておく必要があります。

自然の中で遊びながら、

必要な道具：水辺の場合、たも網、プラスチック水槽など。雑木林などの場合、虫取り網、虫かご、双眼鏡など。場所により服装の指導、長靴などの用意。

所要時間：博物館1時間30分、生きもの観察会1時間30分~2時間。

## ■ねらい

佐渡島は、かつて本州とつながり、その後分かれた「陸橋島」です。この地理的な隔離により、佐渡島では、佐渡にだけ生息している固有種、固有亜種がいます。固有種は、佐渡で進化して種となったもので、固有亜種は、独立した種というほどの特徴的な違いはありませんが、やはり佐渡にだけいる特徴を持つ種です。

植物では、サドアザミなど、動物では、サドトガリネズミ、サドモグラ、サドノウサギなど、昆虫では、サドマイマイカブリ、サドコブヤハズカミキリ、サドメクラチビゴミムシなど、鳥では、サドカケスです。

希少種については、動植物とも多くいます。また、ユキツバキのように、本州では雪の多い地域にしか生育しないのに、佐渡島では比較的雪の少ない地域のみで生育するなど、不思議なふるまいをする植物もいます。

このほか、身近な生きものである、バッタ、チョウ、トンボやカエル、イモリ、ドジョウなどが、それぞれの地形的条件の中にいます。

自然環境の中で遊びながら、それぞれの環境にはそれぞれの動植物が生息することを感じ取ること、そこでしか生きられない生物がいて、その生物にとっては限られた自然が大切なものであることを感じ取ることがねらいです。

